

令和2年7月備前市教育委員会定例会会議録

1 開催日時 令和2年7月29日（水）
開会 午後 1 時 31 分 閉会 午後 3 時 19 分

2 開催場所 備前市役所 5 階 会議室5-2

3 会議区分 定例会

4 出席委員

議席番号	職 名	氏 名	出欠
1	委 員	松 本 友 見	欠
2	委 員	永 島 英 夫	出
3	委 員	立 花 朗	出
4	委 員	高 取 睦	出

5 出席者

職 名	氏 名	出欠
教育長	奥田 泰彦	出
教育部長	田原 義大	出
教育振興課長	大岩 伸喜	出
学校教育課長	岩井 典昭	出
幼児教育課長	波多野靖成	出
文化振興課長	畑下 昌代	出
社会教育課長	竹林 幸作	出

6 付議事件 議案等付議事項のとおり

7 会議状況 議事録のとおり
傍聴人 あり 非公開 あり

8 署名委員 2番 永 島 英 夫

9 書 記 教育振興課総務計画係長 難波 広充
教育振興課総務計画係 草加 成章

10 その他 次回開催日時・場所
日時 令和2年8月24日（月）午後1時30分 開会
場所 備前市役所 5階 会議室5-2

議案等付議事項

区分	案件名
議案第32号	令和2年度備前市教育関係補正予算の提出について
議案第33号	財産の取得について
議案第34号	令和3年度使用中学校教科用図書採択について
議案第35号	備前市社会教育委員の委嘱について
議案第36号	備前市地区公民館運営審議会委員の委嘱について
協議第1号	中学校の統廃合について
報告第1号	備前市学校給食共同調理場運営委員会委員の委嘱について
報告第2号	熊沢蕃山顕彰推進会議について
報告第3号	備前市図書館協議会委員の委嘱について

午後 1 時 30 分 開会

奥田教育長 委員の皆様には、令和2年7月教育委員会会議 定例会にご出席いただきありがとうございます。

それでは定例会を開会いたします。ただいまの委員の出席は、3人であります。定足数に達しておりますので、令和2年7月備前市教育委員会会議定例会を開会いたします。

本日の教育委員会会議に傍聴を希望されている方がおられます。

備前市教育委員会会議規則第15条の規定により、会議は公開することになっており、教育長の許可をもって傍聴を認めることとします。なお、議事・発言内容に係る委員会の協議は、申し合わせに沿って行います。

それでは、傍聴人の入室並びに会議の傍聴を許可いたします。

(傍聴人入室)

委員並びに出席職員、そして、傍聴者に申し上げます。

教育委員会会議の議事等会議は、人事、争訟のほか、市議会の議決を経るべき事項の原案、個人・団体情報を公開することで権利利害に影響を及ぼすおそれのある事項、例示いたしますと、問題行動や児童生徒指導上の案件などにあつては、委員会の議決をもって非公開といたします。

非公開審議の事例は、かなり繁雑にありますので、あらかじめ、ご承知おき願います。

委員会会議規則及び委員会申し合わせにより、議事内容や発言内容に関する指摘は、あらかじめ分かる場合は、教育長から発議し、そうでない場合は、発言途中であっても、委員並びに出席職員からの発言を認めますので、教育長にその旨を告げていただき、私から発議するなど所要の手続きを行いたいと思います。

なお、会議を非公開とする旨の議決があつた場合、休憩中の委員会協議などの場合は、傍聴人は職員の案内に従い、速やかに退室していただきますようお願い申し上げます。

非公開審議又は休憩中の委員会協議が終了し次第、あらためて入室を認め、ご案内いたします。

以上よろしく申し上げます。

それでは、議事に先立って、6月定例会以降の教育行政の概要、政務について報告いたします。

終息する兆しが見えていた、新型コロナウイルスは、首都圏を中心に全国へ感染が再び拡大するような動きを見せています。岡山県においてもクラスターが発生するなど、連日感染者が報道され、心配な状況が続いています。これまで行ってきた感染症対策を今一度確認し、防止に努めていきたいと思います。

6月24日、日生海運組合の方が来庁され、市内各小学校へ海運関係の絵本等を寄付していただきました。寄贈された本で、子どもたちが海運業を見直すきっかけになればと思います。

6月25日、定例校長会を開催しました。あいさつの中で、学校再開にあたって、どの学校も適切に対応してくれていることについて感謝し、7月以降の教育活動について、見直し、中止等を検討していくことになるが、基本的な考え方、本筋を見失うことなく市教委と学校が連携して危機を乗り越えていきたい旨、話をしました。

6月29日、和気閑谷高等学校学校運営協議会に出席しました。役員選出の後、学校から協議会の組織、運営計画について説明がありました。続いて、今年度の学校経営計画・予算と次年度教育課程、学校設定教科「地域協働探究」の在り方について協議しました。

6月30日、伊部小学校を訪問しました。めざす学校づくりを子供たちにも意識させる取り組み、やる気や自主性を引き出す工夫など、一貫した方針で学校運営がなされていました。

同日、片上高等学校を訪問しました。落ち着いた雰囲気の中で授業が進められており、生徒自身にも学ぶ構えができていのように感じられました。人間関係力や就労に向けての力の育成など魅力化へ向けての取組についても、具体化されていました。

7月3日、西鶴山小学校を訪問しました。3・4年生が複式となり、学校の体制に変化がありましたが、主体性を育てることをキーワードに先生方が一丸となって熱心に取り組む姿が見られました。

7月6日、香登小学校を訪問しました。地域ボランティアの支援を受けながら一体となった取組が展開されていました。教員構成も年齢的にバランスがとれており、若手教員の育成もなされている様子が伺えました。

7月7日、備前中学校を訪問しました。安定した学校経営がなされており、授業改善も着々と進んでいるようでした。学び、貢献、秩序の見える化の取組も具体的に進み成果を上げている様子が見られました。

7月9日、伊里中学校と東鶴山小学校を訪問しました。伊里中学校では、落ち着いた雰囲気です授業が進められていました。学ぶ意欲やキャリア形成へつなぐための総合的な学習の時間の見直しを課題で、主体的な学習をキーワードに授業改善に取り組んでいました。東鶴山小学校では、学校の小規模化が進む中、複式授業の在り方を中心に研究が進み、自ら問題意識、学ぶ目的をもって学習に取り組むことができるような取り組みがなされていました。

7月10日、日生西小学校と日生東小学校を訪問しました。日生西小学校では、凡事徹底と児童理解を合言葉に学校ルールの見直しを行い、共通した指導ができる体制ができており、成果を上げています。学習面でも、学ぶ目的を明らかにし、振り返りを重視することで主体的に学ぶ授業につないでいる様子が見受けられました。日生東小学校では、社会に役立つ子どもの育成ということで、総合的な学習の時間の中でキャリア教育を重視した取組がなされていました。授業では、見方や考え方を育てる授業づくりに力を入れ、話し合い活動の充実に力を入れていました。

7月13日、三石こども園と吉永こども園を訪問しました。三石こども園では、小学校とのつなぎを重視し、主体的な学びのできる子どもの育成に力を入れていました。そのために、ゆとりのある活動に取り組むことで保育内容を充実させていく工夫がなされていました。吉永こども園では、和やかな雰囲気での保育がなされていました。0～5歳を見通した教育・保育に心がけているが、互いの連携のための時間が不足していることが課題となっています。

7月14日、三石小学校を訪問しました。授業では、様々な考えを引き出すための発問や振り返りやすい構造的な板書、個に応じた対応等、工夫された授業を見ることができました。また、学習の振り返りや互いの良さに気づくことができるよう、校内掲示が工夫されていました。

同日、備前市立図書館協議会を開催しました。令和元年度事業について報告し、令和2年度事業や備前市立図書館の整備について協議しました。

同日、熊沢蕃山顕彰推進会議を開催しました。会議の概要や趣旨を説明した後、今年度実施予定の顕彰事業、交流施設及び生涯学習の場の検討について協議し、様々な意見をいただきました。

7月15日、日生こども園と伊里こども園を訪問しました。日生こども園では、ひなビジョンを活用しての情報発信ができています。先生方の特技を生かしての横展開の研修にも力を入れていました。伊里こども園では、コロナ対策の一環として、行事の精選について考え、職員が共通理解の上、改善意識をもって実践できています。急傾斜地の草刈りなど、環境面での整備をどのように進めていくかが課題となっています。

7月16日、東鶴山こども園と西鶴山保育園を訪問しました。東鶴山こども園では、危機管理体制を見直したり、主任を中心に園内研修を充実させたりできています。小規模化が進んでいるので、子どもたちにとって刺激が少なく、遊びに発展性がないのが課題です。西鶴山保育園では、コロナ対策を徹底し、健康で安全に子どもたちが過ごせるよう配慮されていました。

7月17日、吉永中学校を訪問しました。「自分からよしなが」を合言葉にした学校運営がなされており、キャリア教育の中で夢の実現を支援する仕組みが見られました。学ぶ目的を理解し、確実に振り返りを行うことで生徒の成長につなげる取り組みが見られました。

7月20日、教育長連絡会議に出席しました。県教委から本年度の事業説明があった後、GIGAスクール構想、新型コロナウイルス感染症への対応、変形労働時間制の導入等について、岡山教育事務所管内各市町と情報交換しました。

7月21日、備前市スポーツ推進審議会を開催しました。令和元年度社会体育事業等について報告し、備前市スポーツ振興基本計画の改定について協議しました。少子高齢化が進む中、役員等の世代交代やイベント等の参加率の向上等について意見が出されました。

7月24日、備前市リレーカーニバルに出席しました。リレー競技に先立って、東京パラリンピックをめざす有力選手の特別レースが行われ、大きな声援を受け力走している姿が印象的でした。

7月27日、教科指導連絡協議会に参加しました。

以上で報告を終わります。

それでは、早速議事に入ります。

まず、1番の前回定例会会議録の承認ですが、令和2年6月定例会の会議録について、委員の皆さんでお気づきの点はございませんか。

教育委員（異議なし）

奥田教育長 ないようですので、令和2年6月定例会の会議録については承認することとします。

次に、2番の教育長報告のうち「生徒指導経過」等に関する部分は、会議規則第15条第4号及び第6号の規定に基づき、会議を公開することにより個人の権利利害を害するおそれのある事項、教育行政の公正又は円滑な運営に支障を生ずるおそれのある事項として、また、3番の議案等付議事項のうち「議案第32号 令和2年度備前市教育関係補正予算の提出について」及び「議案第33号 財産の取得について」は、会議規則第15条第5号の規定に基づき、議会の議決を経るべき議案の原案として、「議案第34号 令和3年度使用中学校教科用図書採択について」は、会議規則第15条第6号の規定に基づき、会議を公開することにより教育行政の公正又は円滑な運営に支障を生ずるおそれのある事項に該当するものとして、非公開とするよう発議します。

また、申し合わせにより「議案第32号 令和2年度備前市教育関係補正予算の提出について」、「議案第33号 財産の取得について」及び「議案第34号 令和3年度使用中学校教科用図書採択について」は、「生徒指導経過」等に関する部分に引き続き、審議いたします。

このことに賛成の委員は挙手願います。

教育委員（全員挙手）

奥田教育長 全会一致により非公開と決定しました。

それでは、学校及び園の現状報告をいたします。

非公開該当部分の報告になりますので、非公開とします。

傍聴人は退席をお願いします。

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 【 非公開審議 】 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

奥田教育長 次に、3番 議案等付議事項について審議を行います。

まず、議案第35号 備前市社会教育委員の委嘱について、事務局から説明願います。

竹林社会教育課長 議案書18ページをご覧ください。

備前市社会教育委員の交代に伴い、新たに委員を委嘱するもので、備前市教育委員会事務委任規則第2条第13号の規定により提案するものであります。

委員名簿をご覧ください。今回委嘱の委員につきまして、市内校長会から朝倉 健様、備前市PTA連合会から稲山恵美様の2名を委嘱するものであります。任期は、前任者の残任期間令和2年6月1日から令和3年5月31日までの1年間となります。19ページに、社会教育委員設置条例の抜粋を掲載しています。以上でございます。

奥田教育長 議案第35号の説明が終わりました。何か質問はありませんか。

教育委員（発言なし）

奥田教育長 ないようですので、議案第35号を承認してよろしいか。

教育委員（異議なし）

奥田教育長 異議がないようですので、議案第35号については承認することといたします。

以上で、議案第35号の審議を終わります。

次に、議案第36号 備前市地区公民館運営審議会委員の委嘱について、事務局から説明願います。

竹林社会教育課長 議案書20ページをご覧ください。

備前市地区公民館運営審議会委員の任期満了等に伴い、それぞれ委員を委嘱するもので、備前市教育委員会事務委任規則第2条第13号の規定により提案するものであります。

委員名簿をご覧ください。和意谷地区の公民館の委員につきまして、任期満了に伴い、新たに藤原美喜夫様、太田民郎様の2名を委嘱するものであります。任期は、令和2年4月1日から令和4年3月31日までの2年間となります。22ページに、公民館設置条例の抜粋を掲載しています。以上でございます。

奥田教育長 議案第36号の説明が終わりました。何か質問はありませんか。

教育委員（発言なし）

奥田教育長 ないようですので、議案第36号を承認してよろしいか。

教育委員（異議なし）

奥田教育長 異議がないようですので、議案第36号については承認することといたします。

以上で、議案第36号の審議を終わります。

次に、協議第1号 中学校の統廃合について、事務局から説明願います。

大岩教育振興課長 協議第1号 中学校統廃合についてですが、統合準備委員会の立ち上げについて、三石小学校のPTAが独自に実施した2校統合案の是非を問うアンケート結果を受け、賛成でき

ない方の意見や不安等をより丁寧に聴き取るために、4回、三石小学校の保護者の方と懇談し、延べ46人参加されました。

その時の要点録を、7月16日付けで、三石小学校の保護者の方にお配りしています。委員の皆様にも、同じものを議案発送時に事前に配布させていただいていますので、その内容については、ご理解いただいていると思います。

要点録の主なものとしまして、4校統合から2校統合案になった理由、三石中学校だけが統合になること、新型コロナの関係で交流期間が十分なのか、延期してはどうか、小規模で行く方がいいのではないのか、交流行事はどうなるのか、学校名、校歌、体操服等はどうなるのか、少人数で肩身が狭い、心のケアを十分に、伊里中学校区の考えはどうか、吉永中学校区保護者の考えはどうか、スクールバスについて、待機場所、路線、運行回数、具体的な提示があれば安心、修学旅行、運動会、部活動はどうなるのか、学校給食について、統合準備委員会のメンバーと協議事項はどういったものか、統合前後の教員の加配、教員の充実を、賛成票がいくらであれば統合が前に進むのか、統合後の中学校跡地の取り扱いはどうなるのか、新聞報道が先に出た不信感、訂正文を出させてほしい、今回の統合が無くなればどうなるかはっきり説明したらどうか、今後の進め方はどうなるのか、というものでした。

教育委員会といたしましては、2校統合案を成案として、統合準備委員会を立ち上げて、前に進めていきたと考えていますが、委員皆様のご意見をお伺いいたします。

奥田教育長 協議第1号の説明が終わりました。

何か質問はありませんか。

三石地区4地区での懇談会の説明がありましたが、これまでたくさんの場所で意見聴取をしてきました。そういう経緯も含め、今後実施計画案を成案にして統合準備委員会を立ち上げて計画を前へ進めていきたい、という事務局案について、委員さんのご意見をいただきたいと思います。よろしくをお願いします。

永島委員 今回の4回の懇談会につきまして、趣旨として賛成できない人や不安をより丁寧に聴き取ることを目的に実施されて、教育委員会も懇切丁寧に回答されていると感じました。この懇談会の要点が小学校の保護者へ配布されているようですが、反対の意見が多く寄せられ、賛成の意見を引き出すことが不足していて、反対の意見が助長されているような気がします。中には、現状の学校運営に対して少人数で満足しているという中学校の保護者もおりますので、賛成・反対が25対24というアンケートと関連して、三石地区では賛成できない雰囲気もあるのですが、そのあたりはどうでしょうか。雰囲気として。

田原教育部長 懇談会を開催してみて、反対されている人の中にも統合そのものに反対しているわけではなくて、統合自体には賛成という答え方もされている方もおられます。ただ、進め方であるとか、新聞報道が先行したとか、最初は4校で進んでいたのに今は三石だけがとか、そういうことに対する教育委員会への不信感が払拭できていない部分があると捉えています。

小学校のPTAの方のアンケート結果では、賛成・反対が25対24で、賛否拮抗しています。ただ、原案に対しては確実に半分の人は統合を望んでいるという現実もあります。そういった意味で、今回反対されている方の意見も聴き取りながら進めたいということで、4回に分けて懇談会を開催しました。

そういった中で、参加者の中にも反対に○をつけたと言われる方もおられました。そういう方も、もし統合するのであれば、学校の教育環境の充実に向けて、教員の加配など充実してほしいという意見などを聴き取ることができたと思っています。

統合に向けて、良い学校にしていきたいと教育委員会としては保護者の皆さんに説明をしてまいりました。その点をどこまでご理解いただいているかわからないところではありますが、中学校の保護者のPTAの役員の方、こども園のPTAでも説明をさせていただきましたが、統合に対して大きな反対はなかったと感じています。

永島委員 まだまだ三石地区においては反対という声が入ってきます。また、検討の期間が長くなっているので、そろそろ結論を出して進んでほしいという声も多く聞かれます。これまで多くの意見交換会をされて、事務局もいろいろな観点、多方面から検討されてきたと思います。

それで、概ね統合は受け入れられていると判断されていると思いますが、私に聞こえてくるのは、おおむね理解されている、賛成の方向である。ではその根拠を明確に示してほしいという声が入ってきます。統合を概ね理解されているだけではなかなか納得できない。私を感じているのは、最終的にはこの一点に尽きる。概ね統合について受け入れられているということだけでは納得できない。その根拠を明確に示してほしいという声が入ってくる。根拠として明確なのは、小学校PTAのアンケートの25対24、これはわかりやすい。そういう根拠があれば我々も納得すると。そういうことで判断していただければという意見が入っています。そのあたりはいかがでしょうか。

奥田教育長 概ね理解をいただいているということで、数値で根拠を示すということは非常に厳しいですが、意見交換会、説明会、懇談会を通じての感触という点ではどうですか。

大岩教育振興課長 4校統合案の時から意見交換会等に出っていますが、4校統合を実現することで、複数学級が実現できますということで、期待を寄せていただいたところがあります。三石と吉永

の2校の統合では、複数学級にはならないという意見の方が多数おられます。それから、三石、吉永両中学校とも新しい出会いがありますという話がありました。複数学級が見込めないということと、コロナの影響で交流期間が十分に取れないのではないかという意見の方もおられました。反対の方には、そもそも少人数が良いという考えの方も中にはおられます。伊里を考えてほしいという方もおられます。そうなのが大体反対の方の意見です。

ただ、この案が白紙になった場合、また備前市全体の計画について委員会を立ち上げて検討していかなければならないので、今の5中学校体制が、今後10年間くらいは続くのではという保護者の意見もありました。そういったことをもっと説明したらよいのではないかという意見もありました。

永島委員 そこで、事務局としては、今まではアンケート的なもの、客観的なデータを得るものはしないという方向できたわけですが、その根拠を明確にするには、例えば小学校の保護者だけでなく、こども園の保護者、小学校の保護者、中学校の保護者、全員を通してのアンケート、慎重に項目とか、周りに流されないように個人としての意思で決定してほしいというような趣旨も踏まえながら、アンケートを実施してそれを基に最終的な判断をする。何割という基準は示せないが、そのあたり、アンケートを取ってということは考えていないと思いますが、どうでしょうか。

奥田教育長 最終的な判断の根拠とするためにアンケート調査を実施したらどうかという委員の意見について、事務局としていかがでしょうか。

大岩教育振興課長 今までの意見交換会等でもアンケートをとって数字を明確にという意見はいただいております。○×式の是非を問うアンケートはどうかというものですが、その時の教育委員会は、終始、参加者と面と向かっての説明を通じて意見を聞いていく、また、意見交換会を通じて、意見を聴き取りながら総合的な判断をするということをこれまで言って来ております。そのため、教育委員会としてはアンケート自体しない方針であるという説明をずっとしてきています。アンケートを取ることにについて、今回の説明会でも申し上げていないところではあります。

永島委員 要点録を見ると、反対の意見の方が強く響いてくるんです。そのあたりをどう判断したらよいのか、なかなか見えないという段階です。

立花委員 要点録を見させていただいて、反対の意見が多かったので、アンケートより意見をもろう方が事務局の方々もエネルギーがいったのではと感じています。このように書面になると、人の心がつながらないというように思います。多い意見に対して、具体的な回答をしたらどうか、絶対反対の人と、やや反対の人と色々いると思います。25対24という拮抗した形にもなると思

ます。ゆっくり、急がないといけないということも分かりますが、デリケートな問題なので、コロナの問題もありますが、納得できるような回答、掘り下げた回答を作られたらもっと理解が得られるのではないのでしょうか。すごくエネルギーがいると思いますが、お願いできたらと思います。

2校統合となっても最終的に反対する人がいると思いますが、最終的に一緒になってよかったと思われるような統合の仕方がどこかにあると思います。委員のお話を聞いていると、心情的なものがかなりの部分だと思います。そのあたりもケアしながらいったらどうかと思います。もう少し詳細な回答が欲しいと思います。あと、先に報道に出たという点、合併ありきという誤解を解く努力をきっちりしておかないと、成るものも成らなくなると思います。そのあたりも慎重にいかれたらと思います。

奥田教育長 4回の懇談会の資料を渡しております。この懇談会の趣旨が、25対24のうち、24の反対の方の理由、お気持ち、また不安に思っている人の気持ちをしっかり聴き取ることが目的の懇談会であったので、賛成の意見も出ていますが、主に反対される方々のご意見をまとめたものになっています。これまでの統合に関する意見交換会や説明会で、参加者から出た意見について、教育委員会会議で以前からお話ししておりますので、それらを踏まえて総合的に考えていただきたいというのが一つ。

それから、2点目。詳細に回答してはどうかということについては、どういふ条件で統合をしていくかということについては、吉永の人たちの考えもあります。教育委員会としては、吉永のPTAや地域の方、三石のPTAや地域の方、学校関係者から組織する統合準備委員会を立ち上げて設立して、新しい学校をどのように作っていくかについて委員会で考えてもらう。具体的に考えていただくということで、あえて懇談会では、具体的な提案を申し上げていません。PTAの組織、学校行事、校歌・校名などどうするか、こちらから言えない部分がありますので、大雑把な説明になっています。

田原教育部長 今回4回の懇談会にあたり、三石小学校のPTA役員十数名と事前に懇談しております。その中で、反対されている方のご意見ですが、教育委員会の考えとして統合を進めるなら、「こうします」と宣言して進めていっていただいてもいいのではないかと、という意味で言われた方もおられました。その方お一人だけではありませんでしたが、そういう中でも反対意見の中にも貴重な意見もあるので、聴き取って慎重に進めていきたいという中で、アンケート結果を受けて、反対されている真意、不安な点を聴き取りしましょうという形で回っていきました。

教育委員会としては統合を進めていく方針ですと。その中で決め方をどうするのかという質問

では、教育委員会会議で決めて、今後統合準備委員会を立ち上げていきますと。もし、PTAが協力しなかったらどうするのかといわれた時には、もう統合は前に進まないということになりますということも申し上げております。PTAの方がこれを進めるにあたって協力をしていただけないということになれば、統合は前に進まないということになります。

そこまで申し上げた中で、事務局としては、2年かけて、2校統合案公表後1年が経とうとしていますが、コロナ対策の影響で少し遅れた部分がありますが、何度も三石の方へもお邪魔して、また吉永との調整も取り進めていくという形で説明してまいりました。そういった中でも、決断の時期といいますか、その決断の時期ではないかと思っています。

高取委員 吉永小と神根小の合併の経験がありますが、簡単にいかないなということを神根の方からもお聞きしています。最後は神根のときも若干強行だったかなという、吉永からみて感じたところもありますが、やはり子どものことを考えて、少人数というのも分かるんですが、中学校から高校へ行ったときに少人数かといえば、ある程度の規模の人数になった時に、子どもたちが大きな学校に行ったとき、初めての人とスムーズに対応できるかということ、どこかで新しい人と一緒になっていかないと、難しいのではないかと思います。

この統合がなくなると、今後10年くらいは統合がないという話だと、これから先、どうしていくのかということがあるので、統合となると、学校が消えてしまう、移動しなければならないところはいろいろな思いがあると思いますが、将来の子どものことを考えると、一緒になった方が良いのではと思います。

何年も同じ人が一緒にいるといいのですが、高校に上がった時に知らない人との交流が難しかったり学校に行けなくなったりする子もいるので、親としては、小学校とか中学校とかどこかで、新たな人が入って交流ができるという人間関係の経験は得難いことと思います。

自分の子どもは、吉永幼稚園の時、三石幼稚園とは交流をしていた。子ども間での交流は結構してきたつもりです。小学校になるとあまり交流の話は聞かないですけど、親が考えることと、子どもが一緒になることは感覚が違いますが、意外と子どもは一緒になって順応性が高いというか、交流できていくのではないかと思います。今、神根の子供たちが吉永小に入ってきていますが、それなりに活動していますし、親が思う以上にすんなりいくのではないかと、思います。

なので、反対意見の人が絶対反対していくのではなく、お互い将来のビジョンを同じように考えられたら、吉永と一緒にすることもいいなということで三石の保護者の方にも冷静に判断してほしいと思います。

奥田教育長 統合問題に限らず、全ての人の合意を得ることは不可能です。だから、市のいろいろ

るな施策に対しても賛成の人もいれば反対の人もいます。どこで決断するかです。

統合についても全ての人の合意の下で進められるわけではありません。だからと言って、反対が多いのに強引に進めていけば、その後の学校運営に支障をきたしてしまいます。教育委員会が判断するにあたって、何回かの意見交換会を経て多くの方々の意見を聞いて、最後は反対の方々の意見も聴き取るという手順を踏んで、進めてきたつもりです。半分以上の方は統合に賛成してくださっているだろう。概ね統合に理解を示してくださっているだろうという感触です。そのことについて根拠を出せと言われれば難しいのですが、様々な意見を聴き取ったということ踏まえて、今後、2校統合に向けて統合準備委員会を立ち上げて計画を前に進めていくべきかどうかについてご意見をいただきたい。本日このことについての方向性を出してこの協議を終えたいと思いますが、この点についてはいかがでしょうか。

永島委員 この文書の中で、冒頭の中で、不明な点があれば下記連絡先までお問い合わせくださいとありますが、これを配った後、何か三石小学校の保護者から連絡はありましたか。

大岩教育振興課長 学校にもPTA会長にもお聞きしました。何も問い合わせはなかったということです。教育委員会にも問い合わせはありませんでした。

意見交換会で一番言われたのが、「私たちの思いを伝えてください」ということです。教育委員会が概ね賛成という言い方について不信感がありまして、こういった形で出た反対意見を伝えてくださいと言われたので、それでこういった要点録を作成して、教育委員さんが判断されるときにお渡ししているということです。

そういう意味で反対意見が多く記載されています。4回の懇談会ではそういう意見が多かったのでこういう要点録になっています。言われたことを内容的には出たことをそのまま記載しているのがこの要点録です。

田原教育部長 要点録ですが、同じ方が同じような質問をしているやり取りもあって、同じ方の意見が何回か出ている部分があります。

永島委員 同じ人が何度も発言している部分があるわけですか。出席者全員がこの意見を言っているわけではないのですね。

田原教育部長 2回連続来られて、同じような質問をされる方もおられました。

奥田教育長 いかがいたしましょうか。

永島委員 学校の規模、学校運営、子どもたちのことを一番に考えると、このまま統合せずに行くことは厳しいと思います。今年の入学生が男子2人、女子5人の現実を見ると、非常に厳しい。委員会としてはこの後、論議が尽くされれば、統合という方向でかじを切っていけばいいのかな

と思っています。

立花委員 最初に戻りますが、なぜ合併なのかという話になった時に、これから人数も増える見込みもないですし。

ただ、学校がなくなることについては、子どもより親の心情の方が強いと思います。子どもは小さいときから交流をしていたという話がありました。順応性は高いと思います。同じ方が何回か同じ意見を言われていることも気づきませんでした。

子どものためを思うと、統合という方向で進めたらよいと思います。

永島委員 要点録を見ると、スケジュールの問題がたくさん出てきています。今後準備期間を経て、令和4年3月の目途で進めるわけですが、新型コロナウイルスの影響で、交流事業やいろいろなことが既に4か月遅れています。半年も過ぎれば、令和4年3月までの準備期間が短いのではないかという思いがしています。そのあたりも今後検討していただきたいと思います。

大岩教育振興課長 期間ですが、目安ということで意見交換会でも話をしています。コロナの影響で会合ができないとか、統合準備委員会の中で、これでは令和4年の春には無理だということもあるかもしれないということによっておられます。ただ、統合する時期を目途として示しておかないと、保護者も生徒も準備ができないのではないかということで、一応申し上げています。コロナなど何らかの原因で会合や交流活動ができない場合があることも説明しています。そのため、一応目途として考えています。

奥田教育長 一つの目途、目安として令和4年3月を示しておいて、統合準備委員会での話し合いの中でもう少し交流期間を増やしたらいいのではという意見が出るかもしれないし、コロナの第二波、第三波がきて臨時休業になって交流どころではなくなる、それさえもできないという状況になるかもしれないということで、スケジュールは柔軟に考えていくということでお伝えしていくということです。

他にご意見が有りましたら。

教育委員（発言なし）

奥田教育長 反対の方もいらっしゃるということで、統合準備委員会の中で、要点録に書かれている課題が多少でも解決できることもあると感じていますし、統合準備委員会の中でさらに意見を出してより良い方向にできることも可能なのではないかということです。このように考えていきたいと思っています。

今委員さんからそれぞれ貴重なご意見をいただきました。それでは、昨年9月に備前市立学校再編整備実施計画案を公表して関係の地区と協議を続けてきましたが、この実施計画案を成案にし

て、今後統合準備委員会を立ち上げて計画を前に進めていくということによろしいでしょうか。

教育委員（異議なし）

奥田教育長 はいありがとうございます。それでは、異議がないということで備前市立学校再編整備実施計画を前に進めさせていただきます。

次に、報告第1号 備前市学校給食共同調理場運営委員会委員の委嘱について、事務局から説明願います。

大岩教育振興課長 議案書の24ページをご覧ください。

備前市学校給食共同調理場運営規則第5条の規定に基づき、備前市学校給食共同調理場運営委員会委員を委嘱いたしましたのでご報告いたします。

24ページの所属氏名等をご確認ください。

委員については、学校長、給食主任、PTA会長、学識経験者の21名で構成されており、各共同調理場の運営を適切かつ円滑にするために設置し、その運営に関して審議し、共同調理場所長に助言するものです。なお、これまで、学校長が所長事務を兼ねておりましたが、令和元年度から各共同調理場にいた4人の所長が、統括所長1人になり、そのことから、令和2年度に共同調理場の運営を一元管理するため、備前市学校給食共同調理場運営規則の規定を整備しました。日生認定こども園の開園に伴い日生幼稚園の給食調理が無くなりましたので委員構成も今年度から変更しております。以上でございます。

奥田教育長 報告第1号の説明が終わりました。委員の皆さんで何か質問はありませんか。

教育委員（発言なし）

奥田教育長 ないようですので、報告第1号を終わります。

次に、報告第2号 熊沢蕃山顕彰推進会議について、事務局から説明願います。

畑下文化振興課長 それでは報告いたします。

令和2年5月の教育委員会において、29ページの備前市熊沢蕃山顕彰推進会議設置要綱を制定いたしました。熊沢蕃山の顕彰事業の取組として、顕彰事業を進めていくための設置要綱です。

この会議の中で顕彰活動を活発にし、全市的に取り組みを進めるにはどのような活動を行って行くかなど検討・協議を行って行きます。

協議内容といたしましては、（1）熊沢蕃山の顕彰事業に関する事、（2）交流施設及び生涯学習の場の検討に関する事です。

28ページは委員名簿になっております。会議は、年に3回程度の開催を予定しております。

26ページが先日7月14日火曜日に開催されました顕彰会議の要旨ですが、この会議について報告

いたします。

別紙の資料1につきましては、「熊沢蕃山の顕彰とその意義」でございます。

次に、熊沢蕃山の顕彰事業に関することにつきましては、今年度の事業といたしまして、展示品等の作成では、掛軸・自画像の複製、熊沢蕃山の年表や足跡などの展示用のパネルを作成し、今後の巡回展や企画展などの実施を想定し、より分かりやすく熊沢蕃山を紹介していくものとして活用いたします。

次に、資料2の「熊沢蕃山」顕彰事業 創作絵本・紙芝居 作品募集について、この作品募集を通して、多くの方に熊沢蕃山を知ってもらおうとともに幅広い世代に蕃山の事績を伝えていけると考えております。

応募は絵本部門と紙芝居部門の2部門です。

応募登録受付は、令和2年8月3日月曜日から12月29日金曜日で、作品提出受付は、令和2年11月2日月曜日から令和3年1月29日金曜日までとなっております。なお、7月21日にプレス発表しております。

次に、クラウドファンディングについてですが、今年度実施する顕彰事業を応援していただくため、今回の顕彰事業に係る展示品の作成や絵本等の公募事業を紹介しながら、事業に携わっていただいている方々の思いやメッセージを発信し、熊沢蕃山の功績を伝えていくためのご支援をお願いしていきます。目標金額は300万円、10月1日開始の予定で現在進めております。皆様のご協力よろしくお願いたします。

顕彰についての意見として、蕃山のやってきたことの中での、「天人合一」、天災・治水にフォーカスする。過去も大事ですが、ESDを取り入れるなど、学校教育にも生かせるのではなどの意見が出ました。

次に、交流施設及び生涯学習の場の検討に関することにつきましては、まず、「熊沢蕃山」の記念館整備に関する経緯について、資料3のとおり説明を行い、委員の皆様には記念館等の交流施設及び生涯学習の場としての整備についての意見をいただきました。

主な意見としては、顕彰の意義からして、整備を進めるべき。地元地区や備前市民が利用するような施設でない。世間一般的には、興味のある人しか寄らないと思うので、もっと若い人の意見を聞くべき。じっくり足固めをしてから建設を進めるべき。節目の年をきっかけに、若い人に知ってもらうきっかけ、仕掛けが必要。などの意見が出ました。

また、場所や時期などにつきましても、様々な意見をいただきましたが、今後の会議の中でも協議・検討していきたいと思っております。報告は以上です。

奥田教育長 報告第2号の説明が終わりました。委員の皆さんで何か質問はありませんか。

永島委員 記念館の整備予算は修正され削除されましたが、その後どのように考えておられますか。

畑下文化振興課長 今のところ、推進会議の中でどのような形で進めてくかご意見をもらって進めていきたいと考えています。

奥田教育長 他にご意見ありませんか。特にないようですので、報告第2号を終わります。

次に、報告第3号 備前市図書館協議会委員の委嘱について、事務局から説明願います。

竹林社会教育課長 議案書30ページをご覧ください。

備前市図書館設置条例第6条の規定により、任期満了に伴い、備前市図書館協議会委員を委嘱したので報告いたします。

当該委員につきましては、図書館の運営や事業などについて意見をいただくもので、社会教育、学校教育、及び家庭教育等の関係者をお願いしています。委員は9名で、内訳は新任が2名、再任が7名となっています。なお、委嘱期間は令和2年7月1日から、令和4年6月30日までの2年間となっています。31ページに、図書館設置条例の抜粋を掲載しています。以上でございます。

奥田教育長 報告第3号の説明が終わりました。委員の皆さんで何か質問はありませんか。

教育委員（発言なし）

奥田教育長 ないようですので、報告第3号を終わります。

次に、4番 会議録の署名委員の決定ですが、本日は2番の永島委員をお願いいたします。

次に、5番 次回の教育委員会会議の決定ですが、事務局案を説明願います。

大岩教育振興課長 8月の定例会につきましては、8月24日月曜日午後1時30分から市役所5階会議室で開催することを提案いたします。

また、9月定例会につきましては、9月25日金曜日、午後1時30分から市役所5階会議室で開催することを提案いたします。

奥田教育長 それでは、次回定例会は、8月24日月曜日、午後1時30分から市役所5階会議室で開催することで、いかがでしょうか。

教育委員（異議なし）

奥田教育長 それでは、次回教育委員会会議定例会は、8月24日月曜日、午後1時30分から市役所5階会議室で開催いたします。

また、9月定例会は、9月25日金曜日の予定とし、会場は市役所5階会議室で行いたいと思います。

教育委員（発言なし）

奥田教育長 ないようですので、その他で事務局、委員の皆さん、何かありますか。

山下文化振興課長 地域おこし協力隊についてご報告いたします。

ホームページ等で、備前市の伝統文化や文化財に理解と興味をもち、ともに地域活性化に取り組んでいただける地域おこし協力隊を募集しておりましたところ、令和2年5月12日に応募用紙が提出されました。しかしながら、住所が神奈川県横須賀市であり、コロナ対策のため、6月8日にWEB面接を行い、内定いたしました。また、こちらへの移住につきましても、7月中旬までに引越し、7月末までの2週間程度自宅自粛していただいております。

内定している方は、岩村孝平さん、44歳です。来月の8月3日月曜日の11時から就任式・委嘱状の交付を行います。任期は令和2年8月1日から令和3年7月31日の1年間です。席の配置は、教育委員会文化振興課でございます。

活動内容といたしましては、伝統・文化関係など地域資源の発掘及び活用事業、市・地域の行事やイベントのサポート、地域おこしの支援活動などです。

以前のお仕事が、携帯電話の開発や評価に従事しており、ICTの知識が豊富です。

古墳見学の趣味をもっており、今後の文化振興課での伝統、文化関連の発掘・保護活動を通じて得られたデジタルデータに説明を加えたコンテンツ、画像・動画・3次元モデルとして作成するなど、市内外への情報公開を進めていきたいと思っております。

続いて、閑谷学校創学350年記念事業についてご報告いたします。

新型コロナウイルス感染症の関係で事業発表が遅れておりました「閑谷学校創学350年記念事業」の開催について、明日の7月30日木曜日の9時に岡山県文化財課と同時に備前市からもプレス発表いたします。またチラシ・ポスターができましたら配布いたしますのでよろしくお願いいたします。報告は以上です。

奥田教育長 他にはよろしいでしょうか。

教育委員（発言なし）

奥田教育長 ないようですので、以上で7月の教育委員会会議定例会を閉会します。

午後 3 時 19 分 閉会

備前市教育委員会会議規則第16条第2項の規定により、下記に署名する。

会議録署名委員 教育長

委 員